

市民公開講座

もしも、の時にそなえて

人生の終わりについて話し合いを始める

アドバンス・ケア・プランニング

これからの医療・ケアに関する話し合い

アドバンス・ケア・プランニングとは、将来の意志決定能力の低下に備えて、今後の治療・療養について患者さん・ご家族とあらかじめ話し合うことです。

生命の危機に直面する疾患にかかった患者さんは、体のつらさだけでなく、気持ちのつらさ、金銭面での心配、家族に対する心配など、様々なつらさを抱えます。

よりよい療養生活を送るために、もしもの時について話し合いをもつことの必要性、療養生活の質の向上への取り組みなど分かりやすくお話いただきます。

講師

木澤 義之 先生

神戸大学医学部附属病院緩和支援治療科特命教授

木澤先生は長野県諏訪市出身で、
日本を代表する緩和ケアの専門医です。



…プロフィール

1991年 筑波大学医学専門学群卒業後、河北総合病院内科研修医

1997年 国立がんセンター東病院研修医(緩和ケア病棟)

2000年 筑波メディカルセンター病院診療科長(総合診療科)緩和ケア病棟担当医師

2005年 筑波大学附属病院緩和ケアセンター副センター長

2013年 神戸大学大学院医学研究科内科系講座先端緩和医療学分野特命教授、同年6月より同医学部附属病院緩和支援治療科診療科長

○厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療体制整備事業」プロジェクトリーダー

日時：平成29年10月6日(金)

17:30～19:00

会場：信州大学医学部附属病院
外来棟4階 大会議室

一般の皆さま、医療関係者の方など、
幅広いご参加お待ちしております。

申込み不要！
参加費無料！